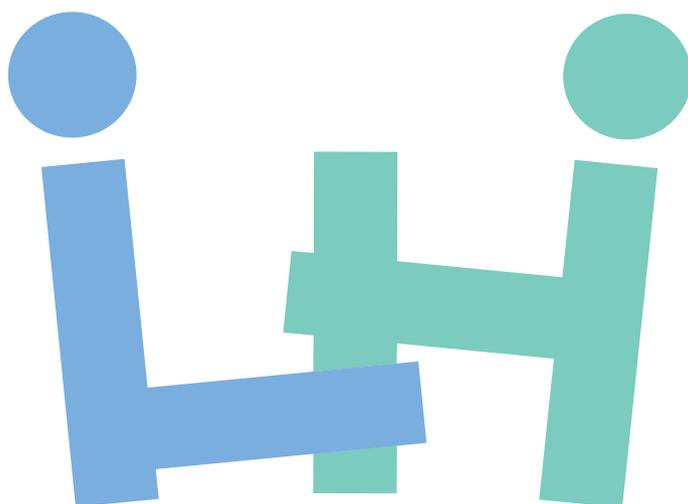


平成24年度

社会福祉法人 名古屋ライトハウス

障害福祉施設事業概要



光 和 寮
(障害者支援施設)

光和障害者相談センター
ガイドネットあいさぽーと
かわな・やすだ
デイサービスセンター クリエイト川名

港ワークキャンパス
(多機能型事業所)
み な と
港ワーク障害者相談センター

明 和 寮
(多機能型事業所)

みなとガイドネット
黎明荘・あかり
明和障害者相談センター
港区障害者地域生活支援センター
地域活動支援センター **あちえつとほーむ**
わくわくキッズ

海部障害者就業・生活支援センター

緑風
りよくふう障害者相談支援センター

戸田川グリーンヴィレッジ
(障害者支援施設)

戸田川障害者相談センター

就労継続支援事業B型
就労移行支援事業<名古屋東ジョブトレーニングセンター>
生活介護事業
施設入所支援事業
特定・一般相談支援事業
居宅介護等・移動支援事業
福祉ホーム
地域活動支援事業

就労継続支援事業A型<ライトハウス名古屋金属工場>
就労継続支援事業B型<KAN食品開発センター>
福祉ホーム
特定・一般相談支援事業

就労継続支援事業B型<ビーサポート>
就労移行支援事業<港ジョブトレーニングセンター>
生活介護事業<ぶちとまと>
居宅介護等・移動支援事業
福祉ホーム
特定・一般相談支援事業
委託相談支援事業<Kiraらぼーと>
地域活動支援事業
放課後等デイサービス

障害者就業・生活支援センター

就労継続支援事業B型
特定・相談支援事業

生活介護事業
施設入所支援事業
短期入所事業
特定・一般相談支援事業

目 次

I 施設のあらまし	3
1. 施設の規模	
2. 利用者の定員	
II 施設利用者概要 ～利用者の現状～	5
1. 光和寮	
2. かわな	
3. やすだ	
4. デイサービスセンタークリエイト川名	
5. ガイドネットあいさぽーと	
6. 光和障害者相談センター	
7. 明和寮	
8. あかり	
9. 黎明荘	
10. 明和障害者相談センター	
11. みなとガイドネット	
12. 地域活動支援センターあちえっとほーむ	
13. わくわくキッズ	
14. 港区障害者地域生活支援センター	
15. 海部障害者就業・生活支援センター	
16. 港ワークキャンパス	
17. みなと	
18. 港ワーク障害者相談センター	
19. 緑風	
20. りよくふう障害者相談センター	
21. 戸田川グリーンヴィレッジ	
22. 戸田川障害者相談センター	
III 就労活動の概要	27
1. 光和寮	
(1) 就業時間 (2) 生産高 (3) 年間売上高の推移 (4) 平均工賃の推移	
2. 港ワークキャンパス	
就労継続支援事業A型<ライトハウス名古屋金属工場>	
(1) 就業時間 (2) 生産高 (3) 年間売上高の推移 (4) 平均工賃の推移	
就労継続支援事業B型<KAN食品開発センター>	
(1) 就業時間 (2) 年間売上高の推移 (3) 平均工賃の推移	
3. 明和寮	
(1) 就業時間 (2) 生産高 (3) 年間売上高の推移 (4) 平均工賃の推移	
4. 緑風	
(1) 就業時間 (2) 生産高 (3) 年間売上高の推移 (4) 平均工賃の推移	

IV 各事業所の状況	31
1. 光和寮	
2. かわな	
3. やすだ	
4. デイサービスセンタークリエイト川名	
5. ガイドネットあいさぽーと	
6. 光和障害者相談センター	
7. 明和寮	
8. あかり・黎明荘	
9. 明和障害者相談センター	
10. みなとガイドネット	
11. 地域活動支援センターあちえっとほーむ	
12. わくわくキッズ	
13. 港区障害者地域生活支援センター	
14. 海部障害者就業・生活支援センター	
15. 港ワークキャンパス	
16. みなと	
17. 港ワーク障害者相談センター	
18. 緑風	
19. りよくふう障害者相談センター	
20. 戸田川グリーンヴィレッジ	
21. 戸田川障害者相談センター	
V その他の活動について	53
1. 東部施設	
2. 西部施設	
3. 緑風	
4. 戸田川グリーンヴィレッジ	
VI 名古屋ライトハウスの沿革	58

I 施設のあらまし

1. 施設の規模

東部施設

	敷地面積	建 物 面 積		
		管理・生活部門	作業部門	合 計
光 和 寮	1,802.35 m ²	1,358.15 m ²	1,456.99 m ²	2,815.14 m ²
クリエイト川名	光和寮敷地内	79.11 m ²	—	79.11 m ²
か わ な	316.50 m ²	623.78 m ²	—	623.78 m ²
や す だ	光和寮敷地内	307.44 m ²	—	307.44 m ²
あいさぽーと	光和寮敷地内	光和寮事務所内	—	—

西部施設

	敷地面積	建 物 面 積			
		管理・生活部門	作業・倉庫部門	合 計	
港ワーク キャンパス	入居棟・作業棟	2,941 m ² (市有地)	1,121.41 m ²	3,665.94 m ²	4,787.35 m ²
	第二工場	330.57 m ²	—	280.24 m ²	280.24 m ²
	寛政町倉庫	556.59 m ²	—	318.96 m ²	318.96 m ²
み な と	港ワーク敷地内	和室14.58 m ² 洋室16.56 m ²	—	—	
明 和 寮	7,068 m ² (市有地)	2,867.59 m ²	1,279.60 m ²	4,147.19 m ²	
みなとガイドネット	明和寮敷地内	43.92 m ²	—	—	
黎 明 荘	明和寮敷地内	291.60 m ²	—	—	
あ か り	明和寮敷地内	和室20.00 m ² 洋室20.00 m ²	—	—	
明和障害者相談センター	明和寮敷地内	明和寮事務所内	—	—	
港区障害者地域生活支援センター	賃貸物件	55.43 m ²	—	55.43 m ²	
あちえっとほーむ	賃貸物件	113.11 m ²	—	113.11 m ²	
わくわくキッズ	(2事業同一敷地)	81.86 m ²	—	81.86 m ²	
海部障害者就業・生活支援センター	賃貸物件	55.5 m ²	—	55.5 m ²	

	敷地面積	建 物 面 積		
		管理・生活部門	作業部門	合 計
緑 風	3012.87 m ²	654.18 m ²	291.65 m ²	945.83 m ²

	敷地面積 (市有地)	建 物 面 積		
		管理・サービス部門	居 室	合 計
戸 田 川	4,281.54 m ²	1,884.28 m ²	605.96 m ²	2,490.24 m ²

2. 利用者の定員

光和寮

- 就労継続支援事業B型 80名
- 就労移行支援事業<名古屋東ジョブトレーニングセンター> 18名
- 生活介護事業 20名
- 施設入所支援 (17室) 32名

かわな

- 福祉ホーム (内世帯用居室1戸) 15名

やすだ

- 福祉ホーム 11名

デイサービスセンター クリエイト川名

- 地域活動支援事業 19名

明和寮

- 就労継続支援事業B型<ビーサポート> 100名
- 就労移行支援事業<港ジョブトレーニングセンター> 15名
- 生活介護事業<ぷちとまと> 10名

黎明荘

- 福祉ホーム (5戸) 10名

あかり

- 福祉ホーム (40戸) 40名

地域活動支援センター あちえっとほーむ

- 地域活動支援事業 19名

わくわくキッズ

- 児童デイサービス 10名

港ワークキャンパス

- 就労継続支援事業A型<ライトハウス名古屋金属工場> 60名
- 就労継続支援事業B型<KAN食品開発センター> 20名

みなと

- 福祉ホーム (20戸) 20名

緑風

- 就労継続支援事業B型 20名

戸田川グリーンヴィレッジ

- 生活介護事業 40名
- 施設入所支援 40名
- 短期入所事業 8名

Ⅱ 施設利用者概要
～利用者の現状～

※単位はすべて（人）

1. 光和寮

○就労継続支援事業B型

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	54	1	2	53	80
女	23	4	3	24	
計	77	5	5	77	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
33	32	1	17	1	0	77 (7)

（ ）内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
22	3	21	23	7	1	0	77

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
1	13	13	12	25	13	77	43.2歳

⑤利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
80	4	21	1,503	71.5	89.5%
	5	22	1,573	71.5	89.4%
	6	22	1,537	69.8	87.3%
	7	22	1,561	70.9	88.7%
	8	21	1,490	70.9	88.7%
	9	21	1,440	68.5	85.7%
	10	22	1,558	70.8	88.5%
	11	22	1,522	69.1	86.5%
	12	20	1,415	70.7	88.4%
	1	20	1,403	70.1	87.7%
	2	20	1,398	69.9	87.4%
	3	21	1,478	70.3	87.9%
	計	254	17,878	70.3	87.9%

○就労移行支援事業

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	11	10	8	13	18
女	8	2	6	4	
計	19	12	14	17	

②退所後の進路

一般企業	就労継続A型	就労継続B型	その他	合計
7	3	3	1	14

③障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
0	0	0	16	1	0	17

④障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
17	0	0	0	0	0	0	17

⑤年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
4	8	3	1	1	0	17	26.2歳

⑥利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
18	4	21	339	16.1	89%
	5	22	401	18.2	101%
	6	22	405	18.4	102%
	7	22	406	18.4	102%
	8	21	364	17.3	96%
	9	21	337	16.0	88%
	10	22	339	15.4	85%
	11	22	313	14.2	78%
	12	20	246	12.3	68%
	1	20	247	12.3	68%
	2	20	237	11.8	65%
	3	21	263	12.5	69%
		計	254	3,897	15.2

○施設入所支援

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	12	1	0	13	32
女	10	0	2	8	
計	22	1	2	21	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
11	8	1	4	0	0	21 (3)

() 内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
0	1	5	12	3	0	0	21

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	3	2	4	11	1	21	48.0歳

⑤ボランティア活動状況

活動内容	述べ参加人数
夏まつり	44名
地域交流フェスティバル	90名
メイクサロン	4名
クリスマス会	3名
新年鍋パーティー	4名

○生活介護事業

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度登録者	本年度解除者	期末在籍者	定員
男	15	2	1	16	20/日
女	11	1	2	10	
計	26	3	3	26	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
10	8	13	7	1	0	26 (13)

() 内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
0	0	4	7	6	2	7	26

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
1	7	1	2	7	8	26	46.0歳

⑤利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
20	4	20	293	14.6	73.2%
	5	21	307	14.6	73.0%
	6	22	332	15.0	75.4%
	7	21	312	14.8	75.2%
	8	20	301	15.0	75.2%
	9	19	275	14.4	72.3%
	10	22	314	14.2	71.3%
	11	21	302	14.3	71.9%
	12	18	264	14.6	73.3%
	1	17	234	13.9	69.7%
	2	19	259	13.6	68.1%
	3	20	288	14.4	72.0%
	計		240	3,481	14.5

⑥ボランティア活動状況

活動内容	述べ参加人数
活動補助	189名
音楽講師	84名
マッサージ	12名

2. かわな

○福祉ホーム

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	10	0	1	9	15
女	4	1	2	3	
計	14	1	3	12	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
3	8	1	0	0	0	12

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
9	0	1	1	1	0	0	12

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	0	0	3	3	6	12	58.2歳

3. やすだ

○福祉ホーム

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	7	0	0	7	11
女	2	1	0	3	
計	9	1	0	10	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
4	6	0	0	0	0	10

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
0	1	4	4	1	0	0	10

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	2	2	0	2	4	10	48.0歳

4. デイサービスセンタークリエイト川名

○地域活動支援事業

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度登録者	本年度解除者	期末在籍者	定員
男	20	0	0	20	19/日
女	26	2	0	28	
計	46	2	0	48	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
48	0	0	1	0	0	48 (1)

() 内は重複障害再掲

③年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
1	7	1	2	7	8	26	46.0歳

④利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
19	4	21	287	13.7	71.9%
	5	22	315	14.3	75.4%
	6	22	313	14.2	74.9%
	7	22	316	14.4	75.6%
	8	21	307	14.4	76.9%
	9	19	264	13.9	73.1%
	10	23	325	14.1	74.4%
	11	21	288	13.7	72.2%
	12	19	300	15.8	83.1%
	1	18	270	15.0	78.9%
	2	20	304	15.2	80.0%
	3	21	340	16.2	85.2%
	計		249	3,629	14.6

⑤ボランティア活動状況

活動内容	述べ参加人数
活動補助	128名
外出ボランティア	17名
陶芸	76名
音楽講師	65名
体操講師	103名

5. ガイドネットあいさぽーと

○指定障害者居宅介護・移動支援事業

①障害別状況（平成25年3月31日現在登録者）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
58	2	0	5	1	1	60 (7)

() 内は重複障害再掲

②障害程度区分（平成25年3月31日現在登録者）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
4	8	27	18	2	1	0	60

③年齢構成（平成25年3月31日現在登録者）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
2	2	4	6	3	43	60	68.5歳

④活動実績時間数

	平成23年度	平成24年度
移動支援（月平均）	201時間	45.0時間
同行援護（月平均）	90.7時間	288.0時間

6. 光和障害者相談センター

○指定相談支援事業

①計画相談状況

月	契約件数	利用計画作成	モニタリング
4	0	0	0
5	1	1	0
6	3	3	1
7	4	3	4
8	17	2	7
9	20	2	7
10	35	18	9
11	34	17	13
12	33	29	21
1	28	44	24
2	52	35	28
3	31	39	48
計	258	193	162

7. 明和寮

○就労継続支援事業〈明和寮 ビーサポート〉

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	82	9	9	82	100
女	20	2	2	20	
計	102	11	11	102	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
16	64	0	26	14	0	102 (18)

（ ）内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
28	2	29	30	11	2	0	102

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
3	6	15	23	27	28	102	50.0歳

⑤利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
100	4	21	1,885	89.76	89.8%
	5	22	1,952	88.73	88.7%
	6	22	1,883	85.59	85.6%
	7	22	1,949	88.59	88.6%
	8	21	1,834	87.33	87.3%
	9	21	1,802	85.81	85.8%
	10	22	1,969	89.50	89.5%
	11	22	1,928	87.64	87.6%
	12	20	1,772	88.60	88.6%
	1	20	1,728	86.40	86.4%
	2	20	1,710	85.50	85.5%
	3	21	1,884	89.71	89.7%
	計	254	22,296	87.78	87.8%

⑥ボランティア活動状況

活動内容	延べ人数	備考
行事協力	84	ライトハウス福祉まつり、納涼祭 文化祭、ボランティア協力食事会
頭髪カット	3	
クラブ活動支援	130	詩吟、卓球、将棋、陶芸、切り絵、 手芸、スケッチ

○就労移行支援事業〈港ジョブトレーニングセンター〉

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	18	11	18	11	15
女	2	5	4	3	
計	20	16	22	14	

②退所後の進路

一般企業	就労継続A型	就労継続B型	利用期間満了	利用中止	合 計
13	5	3	1	0	22

③障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合 計
0	1	1	6	6	0	14

④障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
12	0	1	1	0	0	0	14

⑤年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
1	6	6	0	1	0	14	29.4歳

⑥利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
15	4	21	387	18.42	122.8%
	5	22	404	18.36	122.4%
	6	21	373	17.76	118.4%
	7	22	347	15.77	105.1%
	8	21	292	13.90	92.7%
	9	20	301	15.05	100.3%
	10	22	323	14.68	97.9%
	11	22	244	11.09	73.9%
	12	19	200	10.52	70.1%
	1	20	201	10.05	67.0%
	2	20	194	9.70	64.7%
	3	21	206	9.80	65.3%
		計	251	3,472	13.83

○生活介護事業〈ぷちとまと〉

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定 員
男	13	1	0	14	10/日
女	15	5	0	15	
計	28	6	0	29	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合 計
3	21	0	13	2	0	29 (10)

() 内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
0	0	0	6	3	4	16	29

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	11	6	3	3	6	29	37.1歳

⑤利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
20	4	20	185	9.25	46.2%
	5	22	207	9.41	47.0%
	6	21	208	9.90	49.5%
	7	21	198	9.43	47.1%
	8	20	191	9.55	47.7%
	9	19	185	9.74	48.7%
	10	22	224	10.18	50.9%
	11	22	233	10.59	52.9%
10	12	18	196	10.89	108.9%
	1	18	196	10.89	108.9%
	2	19	208	10.95	109.5%
	3	20	220	11.0	110%
	計	242	2,451	10.1	101%

8. あかり

○福祉ホーム

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定 員
男	18	13	1	30	40
女	7	3	1	9	
計	25	16	2	39	

※明和寮施設入所支援から14名が移行（本年度入所者に含む）

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合 計
8	31	0	7	2	0	39 (9)

() 内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
2	0	11	18	6	2	0	39

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	0	3	8	14	14	39	54.4歳

9. 黎明荘

○福祉ホーム

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	5	0	2	3	10
女	1	0	0	1	
計	6	0	2	4	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
1	3	0	0	0	0	4

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
0	0	1	1	2	0	0	4

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	0	1	1	2	0	4	49.0歳

10. 明和障害者相談センター

○相談支援事業

①計画相談状況

月	契約件数	利用計画作成	モニタリング
4	0	0	0
5	0	0	0
6	2	0	0
7	2	2	0
8	9	2	2
9	16	9	4
10	19	16	9
11	19	19	12

12	25	19	21
1	19	25	18
2	28	19	24
3	10	28	25
計	149	139	115

11. みなとガイドネット

○指定障害者居宅介護・移動支援事業

①障害別状況（平成25年3月31日現在登録者）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
24	34	0	2	1	0	61

②障害程度区分（平成25年3月31日現在登録者）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
7	0	15	16	8	9	6	61

③年齢構成（平成25年3月31日現在登録者）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
2	3	10	15	19	12	61	58.1歳

④活動実績時間数

	平成23年度	平成24年度
重度訪問介護（月平均）	437.5時間	409.5時間
移動支援（月平均）	457.0時間	70.8時間
居宅介護（月平均）	140.0時間	144.8時間
同行援護（月平均）	308.0時間	520.5時間

12. 地域活動支援センターあちえっとほーむ

○地域活動支援事業

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度登録者	本年度解除者	期末在籍者	定員
男	58	4	0	62	19/日
女	46	3	0	49	
計	104	7	0	111	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
12	68	6	27	12	0	111 (14)

（ ）内は重複障害再掲

③年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	7	23	21	19	41	111	48.3歳

④利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
19	4	21	375	17.6	92.6%
	5	23	400	17.4	91.6%
	6	23	407	17.7	93.2%
	7	23	395	17.2	90.5%
	8	22	397	18.0	94.7%
	9	21	354	16.9	88.9%
	10	24	394	16.4	86.3%
	11	23	392	17.0	89.5%
	12	20	338	16.9	88.9%
	1	20	340	17.0	89.5%
	2	21	349	17.5	92.1%
	3	22	376	17.1	90.0%
	計	263	4517	17.2	90.6%

⑤ボランティア活動状況

活動内容	延べ人数	備 考
講師	81	音楽、ピアフラワー、点字、太極拳
パソコン	606	
活動支援	354	
イベント支援	22	福祉祭り、交流フェスタ、外出訓練

13. わくわくキッズ

○放課後等デイサービス

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度登録者	本年度解除者	期末在籍者	定 員
男	26	3	1	28	10/日
女	8	7	3	12	
計	34	10	4	40	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合 計
0	17	0	38	0	0	40 (15)

() 内は重複障害再掲

③利用児童の学校別の人数 計40名

港養護	南養護	港楽小	大手小	稲永小	正保小	東築地小	当知・高木小	惟信保	中学校
18名	4名	4名	2名	3名	2名	3名	各1名	1名	1名

④利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
10	4	21	246	11.7	117%
	5	22	283	12.8	128%
	6	21	273	13	130%
	7	22	262	11.9	119%
	8	21	214	10.2	102%
	9	20	244	12.2	122%
	10	23	280	12.2	122%
	11	22	245	11.1	111%
	12	19	220	11.6	106%
	1	19	221	11.6	106%
	2	20	233	11.7	107%
	3	21	245	11.6	106%
	計	251	2966	11.8	118%

⑤ボランティア・講師活動状況

(ア) 曜日別で参加・月の行事での参加・ツアー等の参加が主なもの。

(イ) 講師としては、開所当時からキッドピクスの講師。

木曜日	一緒にピアノに合わせて歌う	女性 1名
金曜日	(講師として) キッドピクス (月2回)	女性 1名
水曜日	(講師として) 音楽療法 (月1回)	女性 2名
月1回	人形を使って、一緒に歌う	男性 1名
年間で	ツアー・各月の行事参加	男女含む5～10名

14. 港区障害者地域生活支援センター

○相談支援事業

①相談実績件数

月	訪問相談支援	外来相談支援	自立支援協議会	実績合計数
4	66 (2)	180 (0)	2	248 (2)
5	61 (1)	163 (0)	3	227 (1)
6	84 (1)	219 (0)	2	305 (1)
7	69 (1)	225 (0)	1	295 (1)
8	68 (1)	158 (0)	5	231 (1)
9	58 (1)	165 (0)	3	226 (1)
10	75 (1)	170 (0)	1	246 (1)

11	54 (1)	219 (0)	2	275 (1)
12	50 (1)	160 (0)	3	213 (1)
1	73 (1)	155 (0)	2	230 (1)
2	69 (1)	168 (0)	3	240 (1)
3	88 (1)	187 (1)	3	278 (2)
計	815 (13)	2169 (1)	30	3014 (14)

※ () 内は視覚ピアカウンセラーによる支援を再掲 (ピアフラワー講座含む)
平成24年4月～25年3月までの月平均相談実績件数
訪問相談68件 外来相談180件 協議会等の開催2.5回
外来相談支援には電話・電子メール等も含む。なお記載は10分以上の相談をカウント。

②計画相談実績件数

	月	契約件数	利用計画作成	モニタリング
	4	0	0	12
	5	0	0	14
	6	0	0	13
	7	2	2	13
	8	0	0	13
	9	2	3	13
	10	0	1	14
	11	0	0	16
	12	3	3	15
	1	2	2	12
	2	0	0	14
	3	1	1	14
	計	10	12	163

15. 海部障害者就業・生活支援センター

○障害者就業・生活支援センター事業

①支援対象障害者に対する相談・支援件数 (手段別) (件)

センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	252
電話・Fax・E-mail (本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む)	862
職場訪問 (定着支援のほか、職場実習支援を含む)	200
家庭・入所施設への訪問	10
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等)	148
合 計	1,472

※「その他」の具体的な支援内容

◎ハローワークへの同行(登録支援、求人検索、失業保険申請手続きetc)、失業保険説明会への同席、ケース会議、受給者証手続き、履歴書作成、事業所見学

②支援対象障害者に対する相談・支援件数（内容別）

（件）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他				合計
				発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	
就職に向けた相談・支援	109	242	300	86	1	20	5	763
職場定着に向けた相談・支援	7	324	84	37	0	10	10	472
日常生活、社会生活に関する相談・支援	8	58	39	7	0	1	1	114
就業と生活の両方にわたる相談・支援	3	34	22	2	0	0	0	61
その他	10	33	43	5	0	1	0	92
合計	137	691	488	137	1	32	16	1,502

16. 港ワークキャンパス

○就労継続支援事業A型〈港ワークキャンパス〉

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	62	5	7	60	60
女	3	0	0	3	
計	65	5	7	63	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
6	27	2	25	3	4	63 (4)

() 内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
49	6	6	2	0	0	0	63

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	9	14	14	19	7	63	43.6歳

⑤利用状況

定員(名)	月	実施日	延べ利用者数(名)	1日平均利用者数(名)	利用率
60	4	21	1258	59.9	99.8%
	5	22	1290	58.6	97.7%
	6	22	1321	60.0	100%
	7	22	1337	60.7	101.2%
	8	21	1200	57.1	95.2%

60	9	21	1203	57.2	95.4%
	10	22	1276	58.0	96.6%
	11	22	1267	57.5	95.9%
	12	20	1159	57.9	96.5%
	1	20	1159	57.9	96.5%
	2	20	1155	57.5	96.2%
	3	21	1238	58.9	98.2%
	計	254	14863	58.5	97.5%

○就労継続支援事業B型〈港ワークキャンパス KAN食品開発センター〉

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	9	4	1	12	20
女	12	0	1	11	
計	21	4	2	23	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
6	7	2	12	2	0	23 (6)

() 内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
11	1	5	4	2	0	0	23

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
2	5	1	7	3	5	23	41.1歳

⑤利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
20	4	21	343	16.3	81.6%
	5	22	365	16.5	82.5%
	6	22	361	14.4	82.0%
	7	22	356	16.1	80.5%
	8	21	340	16.1	80.9%
	9	21	351	16.7	83.5%
	10	22	366	16.6	83.1%
	11	22	362	16.4	82.2%
	12	20	336	16.8	84.0%
	1	20	341	17.0	85.2%
	2	20	358	17.9	89.5%

20	3	21	391	18.6	93.1%
	計	254	4270	16.7	84.0%

17. みなと

○福祉ホーム

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	19	1	2	18	20
女	0	1	0	1	
計	19	2	2	19	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
4	12	0	2	0	1	19

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
10	1	5	2	1	0	0	19

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
0	2	4	3	5	5	19	48.2歳

18. 港ワーク障害者相談センター

○相談支援事業

①計画相談状況

	月	契約件数	利用計画作成	モニタリング
	4	1	0	0
	5	2	1	0
	6	1	2	2
	7	2	1	3
	8	0	2	4
	9	12	0	4
	10	10	12	3
	11	14	8	4
	12	12	13	5
	1	13	12	5
	2	9	13	8
	3	28	8	20
	計	104	72	58

19. 緑風

○就労継続支援事業B型

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	13	12	0	25	20
女	3	2	0	5	
計	16	14	0	30	

②障害者別状況（平成25年3月31日現在）

視覚障害	肢体障害	その他身体	知的障害	精神障害	その他	合計
1	14	0	16	4	0	30 (5)

() 内は重複障害再掲

③障害程度区分（平成25年3月31日現在）

未判定	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
7	1	7	12	3	0	0	30

④年齢構成（平成25年3月31日現在）

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
1	5	7	9	6	2	30	41.1歳

⑤利用状況

定員 (名)	月	実施日	延べ利用者数 (名)	1日平均利用者数 (名)	利用率
20	4	21	300	14.0	71.0%
	5	22	361	16.0	82.0%
	6	22	354	16.0	82.0%
	7	22	367	16.8	84.0%
	8	21	388	18.4	92.0%
	9	21	368	18.4	92.0%
	10	22	433	19.0	95.0%
	11	22	417	19.0	95.0%
	12	20	398	19.9	99.5%
	1	20	399	19.9	99.5%
	2	20	420	21.0	105.0%
	3	21	444	21.0	105.0%
		計	254	4649	18.3

⑥ボランティア活動状況

活動内容	延べ人数
作業支援	125名
レク介助	12名

20. りょくふう障害者相談センター

○相談支援事業

①計画相談状況

	月	契約件数	利用計画作成	モニタリング
	4	—	—	—
	5	—	—	—
	6	—	—	—
	7	—	—	—
	8	—	—	—
	9	—	—	—
	10	—	—	—
	11	—	—	—
	12	—	—	—
	1	—	—	—
	2	—	—	—
	3	6	4	0
	計	6	4	0

21. 戸田川グリーンヴィレッジ

○障害者支援施設

①入退所状況

性別	前期末在籍者	本年度入所者	本年度退所者	期末在籍者	定員
男	24	0	0	24	40
女	16	1	1 (死去)	16	
計	40	1	1	40	

②障害別状況（平成25年3月31日現在）

脳性まひ	脳障害後遺症	頸髄損傷	二分脊椎	化膿性脊髄炎	視覚障害	リウマチ
22	4	3	1	1	2	1
筋ジストロフィー	ハンチントン病	パーキンソン症候群	多発性硬化症	脊髄小脳変性症	知的障害・精神障害	合計
1	1	2	1	1	23	40 (23)

() 内は重複障害再掲

③年齢構成（平成25年3月31日現在）

	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
男	0	2	10	8	4	24	49.7歳
女	2	1	2	8	3	16	50.1歳
計	2	3	12	16	7	40	49.8歳

④障害程度区分別状況（平成25年3月31日現在）

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
0	0	1	2	5	32	40

⑤見学者受け入れ状況

年月日	時 間	見学者・団体名	人数
H24 6/13	10:30~11:30	名古屋市水道局・土木局職員	2名
7/25	10:30~11:30	港養護学校	2名
8/22	13:00~16:30	キリスト教社会館他	6名
8/29	10:00~11:30	港養護学校	2名
9/3	17:00~17:30	供米田中学校 教諭	1名
10/25	10:45~11:45	うろじ作業所	2名
10/25	10:30~11:30	ゆたか苑、きずなの会	2名
11/13	10:45~14:30	心身障害ホーム部会	36名
11/15	10:00~12:00	卒後対策連絡協議会	40名
11/15	10:00~15:00	愛厚希全の里	3名
11/27	10:30~11:30	厚生会館クリーニングセンター、 厚生会館第2保育園	2名
12/20		(有)信濃総合計画、(社福)墨友会	2名
H25 3/8	13:40~15:00	愛厚弥富の里	1名
合計			101名

⑥ボランティア活動状況

活動内容	活動回数	実人数	延人数	個人人数	団体名・人数
太鼓	1回	2名	2名	2名	
音楽会	1回	3名	3名	3名	牧野 裕さん他2名
パソコン講座	63回	2名	63名	2名	
組みひも	14回	5名	62名	0名	
除草・剪定	3回	4名	8名	4名	
車椅子ダンス	6回	5名	19名	0名	名古屋支部5名(団)
昼食バイキング	4回	6名	19名	1名	組紐5名(団)
歌謡舞踊	2回	2名	4名	0名	中川のさと2名(団)
サマーボランティア	4回	6名	18名	6名	
喫茶	1回	1名	1名	1名	
生活支援	14回	2名	14名	2名	
裁縫	3回	1名	3名	1名	
数珠玉・クラフト	11回	3名	22名	3名	
鍋物会	1回	11名	11名	1名	江松ひまわり会5名(団) 組紐5名(団)
ギターコンサート	1回	1名	1名	1名	
ブルーベリー狩り	1回	2名	2名	2名	
秋祭り	1回	28名	28名	11名	組紐4名(団) みつば会7名(団) 江松ひまわり会6名(団)
クリスマス	1回	38名	38名	0名	供米田中学校(団)
ハンドベル演奏	1回	40名	40名	0名	富田作業所(団)

合計	133回	162名	358名	40名	内訳 7団体 (122名) 個人 (40名)
----	------	------	------	-----	---------------------------

○短期入所事業〈戸田川グリーンヴィレッジ〉

①短期入所及び通所利用状況

		短期入所 利用人数	短期入所利用 延べ日数	短期入所利用 相談件数	短期入所利用新規登録者数		通所 利用人数	通所利用 延べ日数
					市内	市外		
4月	男	18	148	11	1	0	3	7
	女	18			5	1	1	1
5月	男	18	142	8	2	0	4	8
	女	18			3	1	1	1
6月	男	23	144	14	6	1	4	10
	女	17			3	0	1	1
7月	男	21	182	6	2	1	2	3
	女	24			2	0	4	5
8月	男	22	183	4	0	1	1	1
	女	27			2	0	2	3
9月	男	26	175	7	1	0	1	1
	女	20			3	1	1	2
10月	男	25	177	8	2	0	2	2
	女	23			3	0	1	1
11月	男	24	205	6	1	0	2	3
	女	23			2	0	5	5
12月	男	24	213	1	0	0	2	3
	女	24			1	0	5	8
1月	男	22	185	2	1	0	0	0
	女	18			0	0	5	8
2月	男	24	212	2	1	0	2	2
	女	23			1	0	3	4
3月	男	18	169	2	0	0	4	5
	女	20			2	0	3	5
合計		520	2135	71	44	6	59	89

22. 戸田川障害者相談センター

○相談支援事業

① 計画相談状況

	月	契約件数	利用計画作成	モニタリング
	4	0	0	0
	5	0	0	0
	6	0	0	0
	7	2	0	0

8	0	0	0
9	5	0	0
10	5	4	0
11	10	1	0
12	8	5	3
1	10	4	4
2	8	7	3
3	13	5	4
計	61	26	14

Ⅲ 就労活動の概要

1. 光和寮

○就労継続支援事業B型

(1) 就業時間

年間就業時間	年間休日	1日の就業時間
1,479時間	112日	6時間

就労時間	8時30分～15時50分
休憩時間	① 10時00分～10時10分 ② 12時00分～13時00分（昼食） ③ 15時00分～15時10分

(2) 生産物の概要（平成24年度）

印刷事業	法律事務所、大学からのテープ起こし、印刷の受注が増えている
部品加工事業	取引先から外注作業が数アイテム増えた
治療部	大看板効果で新規客が300名になった

(3) 年間売上高の推移

単位（千円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
印刷事業	34,657	39,799	40,981	37,800	38,456
部品加工事業	8,606	9,700	9,111	10,125	10,098
治療部	20,479	19,273	19,581	18,468	18,948
年間売上合計	63,744	68,773	69,674	66,394	67,503

(4) 平均工賃の推移

単位（円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
印刷事業	最高	129,900	121,950	153,160	113,754	114,176
	最低	18,492	27,306	41,727	13,508	14,332
	平均	56,944	59,002	57,493	55,590	52,804
部品事業	最高	58,939	51,224	89,866	81,074	81,592
	最低	8,930	8,581	6,825	4,894	4,031
	平均	24,119	21,832	19,635	19,633	20,294
治療部	最高	298,867	247,140	290,892	226,197	235,146
	最低	25,289	85,146	56,461	113,037	64,891
	平均	138,710	158,891	152,345	169,326	133,565

2. 港ワークキャンパス

○就労継続支援事業A型<ライトハウス名古屋金属工場>

(1) 就業時間

年間就業時間	年間休日	1日の就業時間
1,518時間00分	111日 誕生日休暇 1日	6時間00分

- 就労時間 8時20分～15時20分
- ① 10時10分～10時20分
 - ② 12時00分～12時50分（昼食）早番
 - ③ 12時30分～13時20分（昼食）遅番

(2) 生産物の概要（平成24年度）

金属加工事業	139万9466缶出荷
食品加工事業	乾燥コンニャク作業19,235Kg DHC83746個
下請け作業	インスタント箱詰め作業8,000個 カレー粉・スープの素計量・封入作業45件74kg 解体作業20t
SELP委託事業	金山駅即売会主管業務を毎月1回3日間 月平均140万の販売額・来客数2,500人・商品販売個数5,000個

(3) 年間売上高の推移

単位（千円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
金属加工事業	258,077	242,082	264,439	259,916	255,099
食品加工事業	—	543	2,967	5,835	4,560
下請け作業	—	—	—	—	520
SELP委託事業	—	—	—	680	2,737
年間売上合計	391,634	242,625	267,406	266,431	262,916

(4) 平均工賃の推移

単位（円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
最高工賃	298,864	255,497	239,990	175,602	164,133
最低工賃	55,967	51,717	49,158	66,835	77,874
平均工賃	116,761	102,963	100,515	101,025	104,924

○就労継続支援事業B型＜KAN食品開発センター＞

(1) 就業時間

年間就業時間	年間休日	1日の就業時間
1,265時間	112日	5時間

- 就労時間 9時00分～15時00分
 休憩時間 12時30分～13時20分（昼食）
 ※その他、作業の間に適宜休憩

(2) 生産物の概要（平成24年度）

パンの缶詰製造事業	販売缶数 645,000缶（内製造数540,000缶 外注仕入105,000缶）
-----------	--

(3) 年間売上高の推移

単位（千円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
年間売上合計	73,757	64,579	61,783	154,546	148,835

(4) 平均工賃の推移

単位 (円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
最高工賃	107,730	60,187	59,907	71,399	73,895
最低工賃	15,574	23,604	18,997	18,248	35,225

3. 明和寮

○就労継続支援事業B型<ビーサポート>

(1) 就業時間

年間就業時間	年間休日	1日の就業時間
1,598時間30分	112日	6時間30分

就労時間

8時35分～16時35分

休憩時間

① 10時05分～10時20分

② 11時50分～12時50分 (昼食) 早番

② 12時20分～13時20分 (昼食) 遅番

③ 14時50分～15時05分

(2) 生産物の概要 (平成24年度)

印刷事業	取引先	8社 (事業)	年間作業件数400アイテム
組立事業	取引先	6社 (事業)	年間作業件数2,261アイテム
自動車部品	取引先	8社 (事業)	年間作業件数4,371アイテム
包装加工	取引先	7社 (事業)	年間作業件数98アイテム
社会貢献	関係会社	41社 (事業)	自販機設置数58か所

(3) 年間売上高の推移

単位 (千円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
印刷事業	152,788	133,387	130,182	118,412	118,898
組立事業	7,631	8,279	8,636	7,079	8,503
自動車部品	27,293	18,870	22,231	29,572	30,319
包装加工	31,714	31,194	39,012	38,712	36,996
社会貢献	—	—	—	2,540	5,051
年間売上合計	219,426	191,730	200,061	196,315	199,767

(4) 平均工賃の推移

単位 (円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
印刷事業	最高	—	161,461	139,996	117,744	118,646
	最低	—	9,968	16,687	25,130	26,013
	平均	—	63,800	50,947	56,221	73,861
組立事業	最高	—	56,102	69,750	81,579	93,142
	最低	—	11,044	13,350	19,618	19,109
	平均	—	32,250	38,139	40,396	42,907
自動車部品	最高	—	63,283	71,520	66,584	67,285
	最低	—	10,993	13,350	18,275	23,887
	平均	—	31,054	38,222	40,822	47,104

包装加工	最高	—	119,247	135,415	119,418	118,971
	最低	—	17,759	26,700	48,613	32,175
	平均	—	49,464	59,801	61,253	67,552
社会貢献	最高	—	—	—	64,991	108,277
	最低	—	—	—	20,010	23,862
	平均	—	—	—	42,501	66,070
合計	平均	—	37,709	42,393	44,845	47,543

4. 緑風

○就労継続支援事業B型

(1) 就業時間

年間就業時間	年間休日	1日の就業時間
1,397時間	111日	5.5時間

就労時間

9時00分～16時00分

休憩時間

① 10時40分～10時50分

② 12時00分～13時00分（昼食）

③ 14時20分～14時40分

(2) 生産物の概要（平成24年度）

軽作業	利用者の増加に合わせて作業確保に尽力した結果、掃除用具の組立作業を筆頭に注文量も増え、就労売上は前年比80%アップとなった
-----	---

(3) 年間売上高の推移

単位（ 千円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
軽作業	—	—	—	1,710	2,903
年間売上合計	—	—	—	1,710	2,903

(4) 平均工賃の推移

単位（ 円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
最高工賃	—	—	—	21,094	19,544
最低工賃	—	—	—	2,640	1,219
平均工賃	—	—	—	12,234	9,719

IV 各事業所の状況

1. 光和寮

○就労継続支援事業B型

(1) 治療院

名古屋ライトハウス創設以来の伝統ある職場で、鍼・あんまマッサージ指圧師等の資格を持った方々に働く場を提供している。また、盲学校卒業者に対し、一般社会へ出る前の訓練が出来る仕組みを作りつつある。

営業時間は午前9時半から午後8時半で、現在は10名の方が利用している。

また、仕事時間は早番で午前8時半から午後5時20分、遅番では午前11時から午後8時半となっている。

国家資格のあんまマッサージ指圧師および、はり師が施術にあたっている。

施術については、30分・60分・90分コースなどのほかに鍼コース・フルコース（マッサージと鍼）などがある。

施術用ベッドは12台あり、広々とした治療室になっている。

鍼治療には使い捨て（ディスポ）の鍼を使用しており、安全面においても配慮している。また、受付（電話・窓口）や会計、施術ベッドの整備なども業務のひとつと位置づけているため、利用者の大事な業務のひとつとなっている。

ライトハウス治療院では、接客や治療室のセッティングも就労支援と考えており、治療技術のみではなく、全体的な向上を考えている。

受付は利用者と職員の2名で行い、受付業務がスムーズに行くように配慮している。

利用者の方々が休憩できるように控え室には机と椅子が設置してある。

(2) デザインプリント科

平成22年度よりデザインプリント科と録音速記科を統合し印刷科として一新された。光和寮の印刷事業は昭和40年に活版印刷部門として、録音速記事業は昭和51年に盲人用カナタイプ講習会として創業しそれぞれ長い歴史を持つ。録音速記については、別名テープ起こしと呼ばれ講演・会議・座談などで録音された人の言葉を聴き取り、その内容を文章に直す作業である。現在は時代の流れと共にそれぞれ形を変えて事業を行っており、活版印刷から始まった印刷科はオフセット印刷やオンデマンド印刷に切り替わり、録音速記科はトランスクリイバーを経てデジタルデータをもとに作業を行っている。

近年の印刷業界はデジタル化が進み、パソコンからダイレクトで刷版、印刷することが可能となり、積極的にそれらの機器を整備することで車椅子や麻痺がある障がい者が幅広く作業できる環境が整ってきた。また、製本機を更新し機器的な作業能力の向上を図った。

(3) 録音速記科

テープ起こしは国・県・市の会議・シンポジウム・審査会や、病院・大学などの講演会で収録された音声をワープロ原稿に文字データ化する。ただし単純に文字データにするだけではなく、その原稿が冊子になるのか、それとも裁判などの証拠（書証）になるのかで文章を作り分けている。前者は読みやすく、後者は音声に忠実に、である。

当施設の録音速記の強みは、名古屋市内なら無料で出張録音することである。また、お客様のご要望があれば会場の手配、案内状の発送、アンケートの集計などお客様にとって面倒くさいことや、過去に出版された冊子などドキュメント類のデジタル化、カセットテープのダビン

グやデジタルメディア化など今日的な仕事も行う。今後、さらに新しい提案をお客様にしていきたいと考えている。

(4) 部品加工科

手作業を中心とした仕事を障がい特性に合わせ提供し、仕事を通して責任感・連帯感・意欲・態度・生活力等を支援している。

前年度から行っている営業活動も少しずつではあるが効果（売上・仕事量）がでてきている為、次年度も引き続き営業活動を行っていく。

現在、54名の方が作業に携わり、多品種・大量品も高品質・納期を守りお客様に信頼される仕事をしている。また、今まで欠点であった機動力もトラックを導入する事により解消し、大型の商品も扱えるようになった。

今後は、より多く仕事提供ができるように機械化を進め、より多くの企業等と連携をとりながら高い工賃に繋がるよう、目指していきたいと考えている。

○就労移行支援事業<名古屋東ジョブトレーニングセンター>

一般就労を目指している障がいのある方を対象に一定期間（2年間）、働く為に必要な知識と能力を高めるトレーニングを行っている。また、企業における実習の実施、適性に合った職場探しや就労後も安定して働き続けられるよう支援をしている。

■定 員 18名

■利用期限 最長2年

■利用対象者

- 各種手帳所持者。
- 働く意欲や意思があり、職業訓練を受けることにより就労が見込める方。
- 自力通所が可能で基本的な身の回りの事が出来る方。

■支援内容

- 働く為に必要な力を習得する為のトレーニング
 - ・教材を使って個々の作業能力の向上を図るだけでなく、職場内のマナーやルール、身だしなみ、コミュニケーションスキル（挨拶・返事・報告・質問）などの習得。
- 適性に合った職場探しや就労後の職場定着
 - ・障がい特性、能力を把握した上で就職活動を行い、ハローワーク、就職面接への同行。履歴書の書き方、面接練習など。
 - ・就職後も定期的に職場訪問を行い、安定就労、長期就労が出来るよう支援。

■就職者数 7名（24年度）

25年度は6月現在で7名の方が一般就労している。しかし、早く就労させることが目的ではなく、そこで長く定着して働けることが重要になる為、開所して6年目を迎えた今、継続就労の大変さを感じている。

また、様々な障がいに対応できるよう、訓練内容を充実させ、現実即したトレーニングを目指し、一般企業での職場体験実習も積極的に取り入れていく等、今後も各関係機関と連携をとりながら障がいのある方の「はたらく」を支えていきたいと考えている。



○生活介護事業

■定員：20名／1日

■活動時間：10：00～15：00

■利用対象者：次の条件を満たす方

- ・名古屋市在住（原則）
- ・障害福祉サービス受給者証<生活介護>の交付を受けている方
- ・障害程度区分3以上（50歳以上の方は区分2以上）

「あたらしく集う場所、輝（ひか）る場所」をモットーにお菓子づくりやレクリエーション等さまざまな場を提供している。

■サービス内容

- 給食 送迎 創作活動（書道、図画工作、ビーズ細工、陶芸）
- 社会適応訓練（買物訓練、調理訓練、歩行訓練）
- 機能訓練（体操、よさこい体操、マッサージ）
- レクリエーション（麻雀、ゲーム、運動会、クリスマス会等）
- その他健康相談・生活相談など

■今後の展開について

10代～80代の利用者が在籍し、身体機能にも差があるため、フロアのレイアウト変更をし、年齢や障がいを問わない受け入れを目指す。

また、対象利用者の拡大につながるよう養護学校の実習生を積極的に受け入れていく。

昨年度からは一部希望する利用者に、午前中1～2時間軽作業を活動の一環として取り入れ、生産活動を伴う生活介護から、技能開発センターへのステップアップルートを試験的に取り入れている。

○施設入所支援

旧法でいう入所施設と就労継続B型との併用として、22名（男性12名、女性10名）の障がい者が入所している。（平成25年3月31日現在）障がい種別は、視覚障がい者が12名、肢体障がい者8名、内部障がい者1名であり、うち障がい重複している者は4名である。入所者に対して、社会生活を営む上で必要となる生活技術の獲得ができるよう、自室の清掃、金銭の自己管理、体調管理などの支援を行っている。



2. かわな

○福祉ホーム

地域でのごく普通の生活を希望しながらも、家庭環境、住宅等の諸事情により、居宅において生活することが困難な障がい者に対し、3年を限度として低額な料金で日常生活に適応するような居室その他の設備を提供し、必要な便宜を図ることを目的としている。

定員 15名 世帯用居室 - 1室 (41.16㎡)

単身用居室 - 13室 (23.98㎡~29.70㎡)

1F - 3室 (車椅子使用障がい者向け 8室は世帯向け)

2F - 5室 3F - 6室

<利用料一覧>

単位 (円)

区分	非就労	福祉的就労	一般就労	備考
利用料 (賃料)	0	7,500	15,000	単身世帯
	0	12,500	25,000	夫婦世帯
共益費 (管理費)	5,000	5,000	5,000	単身世帯
	5,000	5,000	5,000	夫婦世帯
合計	5,000	12,500	20,000	単身世帯
	5,000	17,500	30,000	夫婦世帯

■24年度の利用状況について

地域移行促進のため、長期入居者に対して声掛け等を行った。



3. やすだ

○福祉ホーム

定員・・・11名

設備・・・10室

(個室9室、2人部屋1室)

料金・・・家賃 7,500円

共益費 5,000円

光熱水費 10,000円

合計 22,500円



■24年度の利用状況について

当施設は、入所施設から地域生活移行に向けての準備段階としての役割を担う事から、今後も個別に地域移行の計画に沿った住宅情報の提供、ヘルパー利用などの支援を行っていく。今年度は入所から2名移行することが出来た。

4. デイサービスセンタークリエイト川名

○地域活動支援センター

■定員：19名／1日

■活動時間：10：00～15：00

■利用対象者：名古屋市在住の視覚障がいのある方

視覚障がい者を主体とした地域活動事業として創作活動・社会適応訓練・レクリエーション等のサービス提供を行っている。H25年3月現在で登録者数48名。

■サービス内容

- 給食 送迎サービス 手芸（編み物、ビーズ細工等） サウンドテーブルテニス
- 陶芸 カラオケ 音声パソコン 外出訓練 調理訓練
- レクリエーション（夏祭り、クリスマス会等） 大正琴 革細工 など

■今後の展開について

居心地のよい日常生活が送れるよう、歩行訓練・買い物訓練を定期的に行う。ボランティアを確保し新しい活動の提供ができるように努める。



5. ガイドネットあいさぽーと

○居宅介護等・移動支援事業

現状は視覚障がい者の方への移動支援と盲学校の学校送迎を中心にサービス提供をしている。23年10月には同行援護が始まったので、そのニーズに応じていくためにガイド養成講座を開催してヘルパーを確保する。

6. 光和障害者相談センター

平成24年度から始まったこの事業は、施設内外における相談事業者としての核となるような資源となっていかなければならない。

地域から必要とされる相談支援を行い、当事者及びご家族の方が安心して「くらす」「はたらく」ことができるよう、サービス利用計画の策定から各種相談を基にしたマネジメントができるよう業務遂行にあたる。

7. 明和寮

昭和54年11月

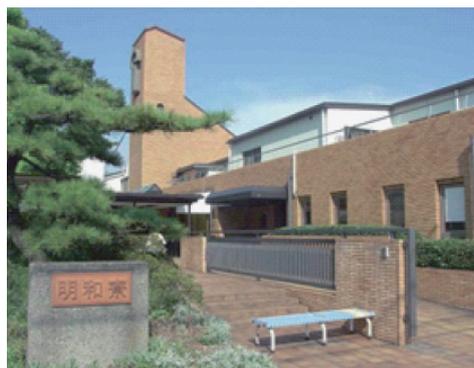
名古屋市初の重度身体障害者授産施設を開所
平成20年1月

障害者自立支援法に伴い、新事業体系へ移行
就労継続支援事業（B型）「ビーサポート」・就労移行支援事業「港ジョブトレーニングセンター」・生活介護「ぷちとまと」を開設。

平成20年4月

入所部門の一部が福祉ホーム「あかり」として再編。
黎明荘は通所ホームから福祉ホームとして再編され、それぞれ事業開始。

[施設外観]



○就労継続支援事業B型<ビーサポート>

《印刷科》

冊子を得意分野として、チラシ・ポスター・封筒・はがき・名刺など様々な印刷業務を手掛けている。

また、手書き原稿からのデータ作成はもちろんのこと、さまざまなデザイン作成も編集部門が請け負っている。

主要取引先としては名古屋市役所、名古屋市社会福祉協議会、愛知県社会福祉協議会、民間企業、個人の方々からも受注している。



[両面印刷機]

《組立加工科》

主要な作業として熱圧着ブリスター（プラスチックの容器に商品を入れ台紙に熱圧着する機械）を使用した作業や当事業所が開発したインサートナット圧入機（プラスチック製品に金属金具を圧入する治具）での加工、またキッチン用品の部品やビス、取扱い説明書などの袋詰めなどを行っている。

そのほかにも各種組み付けや梱包などの作業を視覚障がいや片麻痺など様々な障がいにあわせて展開している。



[熱圧着ブリスター機]

《自動車部品科》

20年以上続いている自動車のエンジン部品の組み付けを中心に、自動車のフロントグリルの部分の取り付け、アセンブリ、グローブボックスの組み付けなど様々な自動車関連の作業を展開している。

また、自動車部品以外にもガス給湯器の凍結防止ヒーターにバネを取り付ける作業も、柱となっている。この作業に関しては、内部だけではなく他の作業所にも協力していただき、生産数を上げて、当事業所で一元管理することで、付加価値を付けている。

《包装加工科》

障がい者施設ではほとんど見られない真空成型でのプラスチック加工を行っている。

PET・PP・PE・PS・PVCなどさまざまな材料から部品やトレーやパッケージ用のブリスターパックを生産している。2面の大プレス機2台（1台は貸与）とスライドブリスター機7台（4台は貸与）により、成型後の抜き作業から曲げ加工まで行うことが可能となっている。



[エンジンフィルターの組付け]

《社会貢献科》

平成22年11月より施設全体で取り組んだ『きらっとOneプロジェクト』（企業と明和寮がひとつになる計画）を引き継ぎ、平成23年11月より就労事業として活動を始める。

柱となる業務はブログの配信やホームページの更新など、明和寮のCSR（社会的責任・社会的貢献）活動の情報発信や自動販売機の管理等、ビーサポートの中では異色の内容となっている。



[真空成型機]

◇24年度の状況

震災から1年が経過し、少しずつではあるが仕事量の確保ができ、年度末の衆議院選挙による政権交代での景気の上向き状態など、各科明暗が分かれたが、売上を維持することができた。

今年度は新規利用者と退所される利用者の率がほぼ同等な数字となり、仕事の確保と利用者確保の両面で今後も魅力ある就労現場を職員・利用者一丸となって構築していきたい。



[ブログの配信]

○生活支援

生活支援では、ビーサポート利用者（福祉ホーム利用者も含む）や家族からの相談、ヘルパーの調整、役所の手続き代行、健康管理、食事提供などの支援を行っている。

(1) 生活支援（2名体制、8：20～18：00）

利用者個々の生活相談支援、地域生活移行支援、入退所業務、老人ホーム等他施設への移行支援、利用者と市町村・関連機関・家族等の連絡調整・相談、社会資源などに関する情報提供、受給者証など各種手続きの支援・代行業務、ボランティアの受入・調整などの業務を行っている。

(2) 看護（3名体制、7：50～18：00）

利用者の健康維持・管理に関する支援、医療機関との連携や家族との連絡調整、身体的・精

神的状況の把握と対応、情報管理等の業務を行っている。また、健康管理の自立に向けての支援にも力を入れている。

(3) 給食

給食は、365日の朝・昼・夕を提供している。食事の種類は、常食の方を主として、糖尿・腎臓・透析食などがある。

特徴として、月に1度のパン・ご飯の選択や主菜の選択を行うなど、家庭に近い手作りで安全・安心な食事の提供に努めている。

○就労移行支援事業<港ジョブトレーニングセンター>

■定 員：15名

■利用期限：最長2年

■対 象 者：みなさまの“働きたい”に向き合い、必要なサポートを行っている。事業を開始して5年が経過し、幅広い方にご利用いただけるようになった。

■支援内容：個別の状況に応じた支援を通じ、みなさまに安心と充実感を提供する。

①就労準備支援：模擬職場での様子から、業務遂行や求職活動の力をアセスメントする。技能プログラムは“すべての仕事の先にはお客様がいます”をモットーに、日々充実を図っている。(製造・加工系、事務系、生活系) 就職前の準備をしながら、スタッフとの信頼関係を構築することも重要である。



②求職活動支援：申し込みや面接、雇用前実習のサポートを必要に応じて行う。

③定着支援：事業開始後、常に重点を置いてサポートをしてきた。職場訪問はもちろん、OB会での余暇支援も積極的に行い、社会性の向上や不安・トラブルの早期発見を目指している。



■24年度状況

企業への就職者12名。会社で初めて働く方が多く、就職後のサポートは仕事を覚えるだけでなく、より細やかに行う必要性を感じさせられた。また、精神疾患や発達障がいの方にも多くご利用いただくようになり、みなさまに安心と充実感を提供できるよう、専門的な支援スキルの習得・向上に取り組んでいきたい。

○生活介護事業<ぷちとまと>

在宅の障がいを持つ方に、外出の機会や人との交流、社会参加の機会や趣味、創作等、充実した日中活動ができるよう支援を行っている。それらを通し「楽しい時間」「小さな充実」「自分の居場所」「くつろげる空間」を提供。

24年度末現在28名の方が登録。年齢、障がい程度・種別も様々である。

個人個人ができること、やりたいことに取り組んでいただいている。

《勤務体制》

- (1) 職員配置 7名 生活支援員 5名 看護師 2名
- (2) 開所時間 10:00~15:00

《日々の活動内容》

■日常生活支援

- ・昼食 個々の食事形態、状況に合わせた形で提供。食事介助の実施。
- ・送迎 港区及び熱田、中川区の一部。
- ・入浴 ボード浴及び個浴にて対応、可能な範囲で相談に応じる。
- ・排泄 介助、おむつ交換等、随時対応。
- ・各種レクリエーションの提供（別記）
- ・その他（バイタルチェック、足浴、体重測定等）



[昭和村にて]

《レクリエーション等の活動》

- ・全体での取り組みとして、風船バレー・カラオケ・散歩・買い物・クイズ・お菓子作り・創作活動（季節の壁画・飾りつけ作り）などを行っている。
- ・個人、または小グループでの取り組みとして、パソコン・インターネット・カードゲーム・卓上ゲーム・ジグソーパズル・レゴブロック等、本人の希望に合わせて行っている。
- ・季節行事として、花見・七夕祭り・スイカ割り・遠足・クリスマス会等を実施。
- ・レクリエーションへの参加や、過ごし方は基本的に自由。本人の希望や障がい状況、体調に応じ、個人のペースで過ごしていただく。



[パン作り]

8. 黎明荘・あかり

○福祉ホーム

〈運営方針〉

福祉ホームあかり、黎明荘ともに、身体に障がいを持つ方に対して、自立を目的として3年の期限を設け、低額な料金で居室やその他の施設を提供している。

〈入居対象者〉

- ・主に当法人で就労している方
- ・基本的に、ADLの自立している方。ヘルパー利用で対応できる方も入居可。

■黎明荘

定員・・・10名

設備・・・5戸（2DK、個室10室）

料金・・・家賃 7,500円

共益費 5,000円

合計 12,500円

※光熱水費は使用した分を支払う



[黎明荘 居室内]

■あかり

定員・・・40名

設備・・・40室（洋室17室、和室23室）

料金・・・家賃 7,500円

共益費 5,000円

光熱水費 10,000円

合計 22,500円



[黎明荘 居室内]

〈平成24年度の状況〉

平成24年度4月に施設入所支援から定員40名の福祉ホームあかりに完全移行した。利用者の方の高齢化・重度化が進み、平成24年度中に自宅で療養された方、他施設移行された方が各お一人、また死去された方がお一人となった。



[あかり 居室内]

9. 明和障害者相談センター

平成24年度4月から明和寮事務所に相談支援専門員2人体制で事業が立ち上がった。障がいをもつ方の悩み、希望などの気持ちに寄り添うことを第一にサービス等利用計画の作成、モニタリングなどが主な業務である。名古屋市は平成24年10月から受給者証更新の方がサービス等利用計画の作成が必須となり、実際の業務は8月後半から本格的に動き、平成24年度中に約130人の利用計画作成にいたった。主に身体障がいの方の相談が多かったが、知的・精神の障がいの方の相談も受け、ご本人のニーズを引き出し、それに沿った計画作成に努めた。

10. みなとガイドネット

○居宅介護等・移動支援事業

平成15年4月1日に事業開始して丸10年。通院介助や買い物の付き添いや自宅の家事援助・入浴介助などの支援をし、港区在住の障がいのある方の社会参加や自己実現を応援している。

また、同行援護での通院介助や外出介助も行っており、「安心」「安全」「満足」をモットーに努めている。



[ジャスコにて買い物]



[なばなの里イルミネーション見学]

11. 地域活動支援事業 『地域生活支援センター あちえっとほーむ』

■定員：19名

■開所時間：10：00～16：30



障がいのある方に創作的活動・社会適応訓練・レクリエーション・各種講座等の提供を行っている。利用者ニーズを主とした講座の立案やボランティア等の外部との連携を強化し、利用者一人一人のニーズに沿った柔軟な事業展開を目指している。利用者のニーズに応えるため、定例会議にて新規利用者・既存利用者の活動状況等を共有し、職員間で情報を共有するとともに、支援方法の検討を行っている。

利用者の新規登録もある程度落ち着き、平成24年度は事業としての安定化を図ることを主軸に運営してきた。新法等の動きにより今後、地域活動支援事業が変化したとしても、障がいのある方が安心して過ごせる日中活動の場を提供できるようにしていきたい。

障がい種別では、社会の動きに応じ精神障がいの方の利用希望も徐々に増加しており、これにも柔軟に対応してきた。

年度初頭には活動ルームの改装も終え、今までよりも有効にスペースを活用できるように

なった。今後もさらに安全と環境に配慮していく。

また、活動専門のボランティアの枠を活性化させることで、利用者対応の充実にも取り組んだ。

12. わくわくキッズ

○放課後等デイサービス

5年目を迎えた今年、児童デイサービスから放課後等デイサービス（みなし期間）に移行し、中・高校生を含む利用者でスタートした。利用者も3月には契約数40件、月間利用者平均数247名、1日平均利用者数は定員10名に対して11.8名となった。

わくわくキッズの方針である、すべての利用者が満足できる活動内容を行うこと、そして職員全員が問題を共有し、前向きに解決する姿勢を念頭に、＜ひとりひとりを大切に＞＜成長発達への援助＞＜自分でできることが増えるように＞のねらいを基本に取り組み、加えて地域に根ざした支援のできる場として進めてきた。



利用者の障がい別では知的・身体重複障がい15名、身体2名、知的障がい23名である。恒例の親子バスツアーも盛況であり、今年度は夏休み等の午前からの活動も加え、充実した活動の一步を踏み出した年となった。

13. 港区障害者地域生活支援センター

○委託相談支援事業<Kiraraぼーと>

平成14年7月より明和寮が名古屋市からの委託を受け、事業を開始した。当年度は自立支援法の一部改正に伴い、当センターも名古屋市から委託相談事業とともに、指定障害福祉サービス事業者（一般相談支援・特定相談支援・障害児相談支援）の事業指定を受けて事業開始する事となった。

本年度は相談支援専門員が4名体制（内一人は相談支援機能強化員）で相談支援事業を実施した。

当センターでは、身体・知的に障がいのある方やそのご家族等に福祉制度の情報提供、福祉サービス利用の援助、ピアカウンセリング、サービス利用計画の作成等を行っている。



[施設外観]

◀平成24年度相談実績件数>

訪問相談：815件 外来相談：2169件 協議会等の開催：30回

■訪問相談支援には申請代行、他機関との調整、個別支援会議（年76回）なども含む。

外来相談支援には電話・電子メール等も含む。

相談者数は年間で353人（相談者の内訳は、身体障がい者（児）は42%、知的障がい者（児）は44%、重症心身障がい者（児）は4%、精神障がい者（児）は10%であり、障がい者は84%、障がい児は16%）、新規の相談者は137人であった。

昨年度より相談件数が増加した要因として、サービス利用計画の作成に対する相談が増加した事があげられる。

名古屋市においては、サービス利用計画の作成が4月から順次必要となった為、利用者の混乱を招くことなく、全ての利用者にサービス利用計画の作成に対応できるよう関係機関で協議を行った。結果、自立支援協議会の個別ケース検討部会に区内8カ所の特定相談事業所職員が参加する事よっての連携強化、毎月の定例会における情報交換や自主勉強会の開催を行う事で3障がいに対応できる体制を整える事ができた。

港区障害者自立支援協議会では、定例会を3回（5月・9月・2月）、就労部会、研修部会（地区別の障がい理解推進のための啓発の研修会を7月と11月に実施、港区全体を対象に障がい理解を深める研修会を12月に開催）、個別ケース検討部会も計画通り開催する事ができた。

次年度は、障害者総合支援法への移行に伴い、難病等も障害福祉サービス対象者に含まれる事となり、障がい程度区分の調査対応、サービス利用計画への対応も必要となる。当センターにおいても制度や難病患者等に対する理解を深め、利用者が安心した地域生活を送れるよう引き続き公的機関・医療機関・事業者との連携を深めていくことが必要となる。

14. 海部障害者就業・生活支援センター

○障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）（生活支援等事業）

『障がい者の雇用の促進等に関する法律』に基づき、我が法人が国と県から委託を受け、平成23年10月より開設した。

海部地域と中川・港区を対象圏域とし就業に関わる相談及び支援業務にあたっている。

職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活、又は社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言・その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図ることを目的としている。

（当該センター事業指定と運営についてより）

■活動（相談・支援）内容

障がい種別を問わず、就労を望む方を対象に、①就職相談、職場での悩みや困っていることの相談②就職の経験のない方や不安を抱く方に対し、職場実習や関係機関での訓練の紹介③ハローワーク等における求職活動のサポート④職場定着支援⑤会社との手続き・年金・保健等、生活に関する相談⑥働く生活を支える為の相談⑦就業者交流会などを実施している。

また、障がい者を雇用している、もしくは雇用を考えている企業の方に対しては、①障がい者の雇用に関する相談②各種助成金等、制度の活用及び情報の提供などを実施している。

実質的な就業支援以外にも、障がい者雇用について今以上に理解してもらえる様、講演や研修会を通じ啓発活動を行い、また会議等を通じ関係機関との連携強化を図っている。

■平成24年度の状況

前年度末に80名程の登録を頂き、相談及び支援に従事してきたわけだが、今年度末には200名を超えるところまで来た。他の圏域では知的障がい者の登録が多いという話もあるが、当センターでは身体37名、知的65名、精神77名と、精神障がい者の登録が多い。

中には未だ医療レベルの支援が望ましい方もあり、医療機関をはじめとした専門機関や福祉事業所との連携も必要不可欠である。

一方、職場定着に向けた支援の件数も大幅に増加した。こちらは知的障がい者への支援が中心で、今年度は324件を数えた。要因としては、養護学校等卒業生が新社会人として就業を開始、当センターでも支援の依頼を受けた事が主なものと考えられる。

また、企業からの相談も入るようになり、徐々にではあるが、海部圏域における就業支援の機関として認知されてきたと感じている。

15. 港ワークキャンパス

1948年 3月

障がい者の自立を目指して製缶工場を始める

1983年 8月

光和寮より分離独立、現在の港ワークキャンパスに

2008年 1月

障害者自立支援法による新事業への移行を行った
授産施設 → 障害者支援施設（入所支援・A型）

2008年 4月

就労継続支援多機能型（A型・B型）へ変更
入所部門は、福祉ホームに移行

KAN食品開発センターがB型として

光和寮から港ワークキャンパスの所属へ変更

2010年 9月

A型として国産こんにゃく食品加工工場を開設

2011年 4月

愛知県セルフセンターからの即売会の運営委託開始

2012年 4月

港ワーク障害者相談センター開設



《施設外観》

○愛知県セルフセンターからの運営委託事業（金山駅・即売会）

即売会（金山コンコース）実績は、売上げ113%の結果。愛知県SELPセンターからの委託事業ではありますが、出店登録施設間においてメーリングリストを作成、活用し提案や意見集約等を行ってきたことの一定の成果と捉えています。しかしながら、商品のマンネリ化など課題もあり、来期もまた、出店施設様と協力の上、試行錯誤を繰り返しながら、働く障がい者の方の一助となるべく進めて参ります。

- ① 開催頻度：毎月3日間の開催。※不定期
- ② 参加施設：毎回30～40施設が参加。
- ③ 商 品：縫製品、木工品、クッキー等の洋菓子、パンやお茶、せんべい、野菜、うどん、ハーブ入り入浴剤、石鹸、雑貨等など
- ④ 平均売上：142万円



引き続き行っていますので是非お立ち寄り下さい！！

○就労継続支援A型 <ライトハウス名古屋金属工場>



主に製缶事業。

雇用契約を結ぶ所謂「雇成型就労継続支援事業」である。

市場においては、缶メーカーと認識されており、「就労継続支援施設」といった括りに甘んじることなく、職員、従業員一丸となって働いている。

スリッター部門…材料の切断

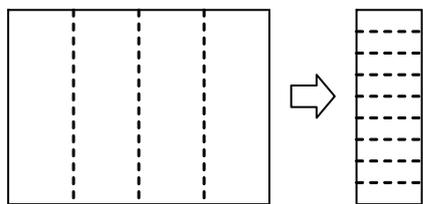
プレス部門…部品を抜く

組立部門…缶の生産で構成されている。

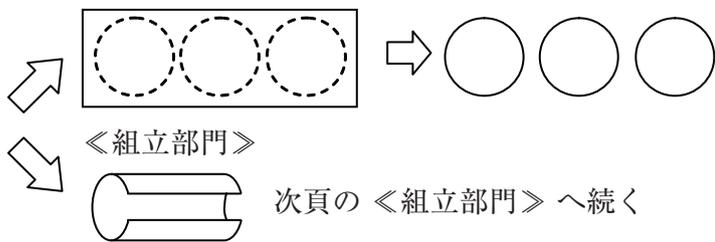
製品は丸型・角型・テーパ型など、バリエーションが豊富である。

また、従業員それぞれの障がい特性を鑑みて、製缶工程を細分化、ワークシェアリングといった体を成しており、働きやすい作業環境を構築している。

<スリッター部門>

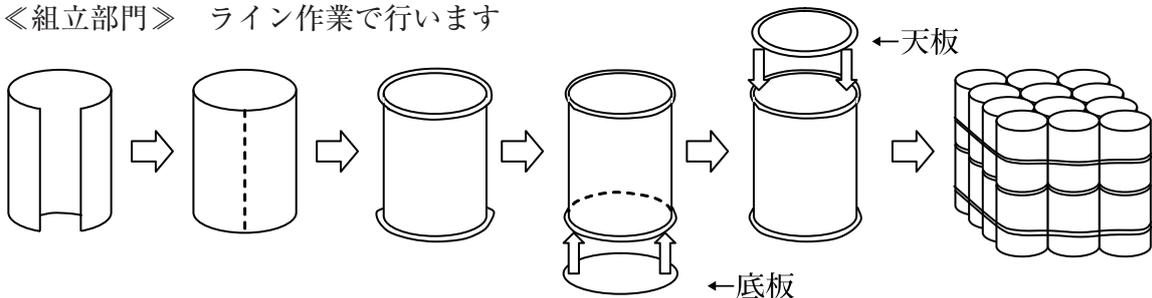


<プレス部門>



<組立部門>

<組立部門> ライン作業で行います



<平成24年度の状況>

売上げおよび出荷数量ともに、ほぼ前年比100%で着地。まずまずの結果と捉えている。24年度は、中期的な見通しをもとに、ブリキ缶製造以外の仕事へチャレンジ。まずは、従業員の手待ち時間削減を企図し、企業様の下請け作業確保を実施。作業内容が製缶作業と大きく異なる為、当初は従業員に戸惑いも見られたが、現在では解消している。また、新規製品の今期量産を目標としていたが、客先事情により来期へ持ち越し。採用は確定しているものの時期については未定。設備投資時期なども含め、来期は、慎重且つ大胆な判断が必要となるだろう。ブリキ缶市場は徐々に小さくなっていくと考えられ、今後、金属工場が生き残っていくためには、新機軸の製品を開発していくことが重要な課題と捉えている。

○就労継続支援A型 <国産こんにゃく食品加工工場>
レトルト食品加工及びコンニャク加工業務

(1) コンニャク加工業務 (H24. 10月末終了)

- ① 機械でコンニャクを結ぶ
- ② パック詰め
- ③ ボイル殺菌
- ④ X線異物検査



(2) レトルト食品加工業務

コンニャクラーメンや、粒コンニャクの他にも、
さまざまな食品の加工を行っている。

- ① 計量
- ② 真空パック
- ③ 商品に合わせた加熱殺菌
- ④ X線異物検査



<<平成24年度の状況>>

平成24年度食品加工事業は、大きな転換を迎えた。

利益重視の方針のもと、メーカー企業様と打合せを重ねた結果、今後も利益確保が困難と判断した結びこんにゃく加工から10月に撤退。作業能力とのマッチングの難しさを痛感した。

乾燥こんにゃく加工は、ほぼ前年度と同じ作業量の確保が出来たものの、作業内容と単価のバランス=マッチングの難しさは、結びこんにゃく同様であり、来年度以降の大きな課題である。メーカー企業様の営業方針、目標と当施設での加工能力向上を合わせ、安定した事業へ成長させることが出来るか、さらに大きな判断を迫られる来年度となりそうである。

新規食品加工として、カレー粉、カレールーの計量、梱包作業を確保。徐々にではあるが、作業数量、売上げは伸びてきている。

○就労継続支援B型 <KAN食品開発センター>

パンの缶詰は阪神大震災を機に保存食として生まれた。

施設として障がい者が地域で自立して暮らしていくことを支えるためには、内職の延長に近い事業だけでは限界があり、新規事業を検討した結果、パンの缶詰に至った。

従来の“パン生地を缶に詰めて焼く”製造方法ではなく、“焼いたパンを缶に詰める”製造方法を考案した。

<<生地を丸める作業>>



<<特 徴>>

- ☆ 1缶に2個入りで、焼きたての風味がそのまま
- ☆ 災害時・アウトドア・おやつ・贈答品にも最適
- ☆ ふっくら・やわらかなまま5年間の保存が可能
- ☆ チョコチップ入り・レーズン入り・コーヒーナッツ入りの3種類がある



《平成24年度の状況》

震災2年目を迎え全国的に需要が落ち着きを迎える中「パンですよ！」は賞味期限5年が定着し防災市場へ大きくシフトし、全国的に扱って頂ける製品になりました。

この結果製造ラインは増産体制を通常体制へ整え直しパン工場も拡張してさらなる増産へ向かっています。

利用者の方々の作業能力も震災以降、格段の成長を見せ今やパン工場には欠かせない職人集団へ成長しています。

又、レトルト加工をA型より引継ぎ、土手煮・土手串・ラーメン・ステイフレッシュ等、全く遜色なく作業をこなし新たな製品へもチャレンジしています。

平成25年4月に従型施設（かんせい工房）の開所で定員も40名に広がり、縫製軽作業・食缶を使用した製品等かんせい工房の安定した事業を模索しながら、利用者募集と平行して25年度はB型のさらなる飛躍の年と考えています。

☆☆ 完成（1缶2個入り）☆☆



製造 月産60,000缶

《パンが焼きあがる》



《焼いたパンの缶づめ作業》



《ラベル貼り作業》



16. みなと

○福祉ホーム

地域で普通に生活したいと思いながら家庭環境、住宅などの事情によって、地域での生活ができない身体障がいのある方に部屋や設備を提供している。

《対 象》

- ☆主に当法人で就労している方
- ☆共同生活をおくる上で支障がない方
- ☆掃除、洗濯、IADLが自立している方

《設 備》

単身用居室20室

《料 金》

施設利用者	家 賃	7,500円
	共 益 費	5,000円
	光熱水費	10,000円
	合 計	22,500円

《居室》



《食堂》



《平成24年度の状況》

平成24年度の身体障がいの方の新規利用ご希望者はいなかったが、知的障がいの方が2名、名古屋市の確認・許可を取り緊急避難的に一時入居。25年度半ばでの地域移行に向けて準備を行っている。

今後も前年度に引き続き地域移行の推進に力を入れ、地域での1人暮らしの為の準備の場としての機能を強化していくとともに、新たな住まいの場の必要な方の新規利用を積極的に進める事により福祉ホームとしての役割を果たしていきたい。

17. 港ワーク障害者相談センター

平成24年4月より、管理者1名（兼務）、相談支援専門員1名、相談員1名で港ワークキャンパス事務所内に特定・一般・児童の相談支援事業所として、港ワーク障害者相談センターを立ち上げた。サービス利用計画の作成、モニタリング、基本相談などを行う。

24年度は10月から受給者証の更新の方全員に計画書が必要になったこともあり、更新の相談が多く、契約者数は102名。港ワークキャンパスをご利用の方ではなく、地域の方が中心であった。身体・知的の障がいの方が多かったが、精神障がいの方の相談も1.5割ほどあった。

18. 緑風

昭和57年に開設した名古屋市緑風荘が、平成23年に障害者自立支援法への移行に伴い民営化。当法人が就労継続支援事業B型「緑風」として事業を引き継ぎ、今年度で2年が経過した。



○就労継続支援事業B型『緑風』

- | | | | |
|---------|-----------------------|--------|------------|
| ＜利用定員＞ | 20名 | ＜職 員＞ | 6名 |
| ＜作業時間＞ | 9：10～16：00 | ＜開所時間＞ | 8：20～17：10 |
| ＜開 所 日＞ | 年間254日（基本的に土日祝は休日） | | |
| ＜対象者＞ | 障害者手帳をお持ちの方（身体、知的、精神） | | |

(1) 就労スタイルの多様化

当初は身体障がい者が8割を占めていたが、現在は身体と知的がそれぞれ4～5割となり、精神障がいも1割を占めている。それぞれが望む就労の在り方も多様化しているため、ニーズをしっかりと把握して多様化に対応していく。

(2) 作業の取組み

「あなたらしい就労の場」「生活スタイルに合ったサービスの提供」をモットーに、多様なニーズに応えられるよう取り組んでいる。主な作業内容は“くまでの組立て”“チラシ折り”“洗濯物畳み”。一連の作業を手順ごとに分解し、得手不得手や障がい特性を考慮した作業配置を心がけ、やる気のアップと生産性のアップを目指している。

(3) 送迎サービス

利便性の向上を図るため地下鉄本山駅までの送迎を行っている。

19. りよくふう障がい者相談センター

今年度3月より事業を開始。千種区で最初の指定相談支援事業所となった。相談員は1名だが、ご本人の要望を尊重したサービス利用計画を立案し、地域で連携した支援体制が構築できるよう尽力している。

20. 障害者支援施設 戸田川グリーンヴィレッジ

平成20年に開設準備室を立ち上げ、設計・施工業者との会議や施設見学等を実施し、3年の準備期間を経て平成23年4月入所型の重度障害者支援という新分野の事業を開始した。

準備段階から「あなたらしく」「地域と共に」「全ての人々が生き活きと」というコンセプトを掲げ、それに共感できる人材を採用し、全ての人（利用者・職員・ボランティア・地域等）を大切にする個別支援を意識した組織運営を心がけてきた。

1. 勤務体制

(1) 職員種別と勤務時間

生活支援員（介護士）

7時15分～16時05分、8時00分～16時50分、9時00分～17時50分、
10時30分～19時20分、12時00分～20時50分、16時30分～9時50分

看護師

8時00分～16時50分、9時00分～17時50分、10時00分～18時50分

事務・生活支援員（相談員）

9時00分～17時50分

音楽療法士・作業療法士・理学療法士、管理栄養士、調理師

6時00分～14時50分、9時00分～17時50分、10時30分～19時20分、
8時30分～13時00分、14時00分～19時30分

喫茶・掃除・洗濯

7時15分～16時15分、9時00分～18時00分、10時00分～19時00分

(2) 昼の開所時間 月～土 9時～17時

夜の開所時間 月～日 17時～9時

2. 活動内容

(1) 施設入所支援

居室は全室個室とし、個別性・プライバシーに配慮したトイレ・入浴設備を備えている。入浴は週3回を保障した。

食事は安全な旬の食材で手作りにこだわり、個別対応や様々な食形態、適温での提供に努めた。9月には東海北陸研究大会に「お寿司のソフト食～ひとりの幸せのために～」という題目で発表し、好評を博した。開設2年目、開設当初からお世話になっている地域やボランティアの方28名を招待しての感謝の食事会を実施した。

館内のS O R A ・ C A F Eは月～金の9時30分～17時まで営業した。

4月には、利用者・家族に向けて、事業説明会を行い、10月から月一回昼の例会を開始し、利用者の意見を吸い上げたり、情報提供する場とした。満足度・嗜好調査も実施した。

嘱託医の週1回の往診、整形外科の通院、月2回の訪問歯科診療と健康診断・予防接種を実施し、健康管理に努めた。

(2) 生活介護

生活支援

起床・就寝介助、食事介助、口腔ケア、排泄介助、入浴介助、移乗介助、移動介助、相談・助言、生活環境整備等

○主な日中活動

ゴロバレー・ボッチャ・創作活動・お菓子作り・書道・水彩画・テーブルゲーム・DVD鑑賞・散歩・季節に合わせた小グループ外出・買い物外出・誕生日外出・ボールプールなど
ボランティア協力によるパソコン・組みひも教室・手芸教室の開催
理学療法士による個別リハビリと歩行訓練・手卓球
作業療法士による個別リハビリと音楽体操
音楽療法士による音楽の時間（個別・グループ）と男女別コーラス

個別支援計画を基本としたチームアプローチを実施し、月2回4名ずつのモニタリング会議と年間4回のケース検討会議を実施した。各利用者の個別活動等も生活スタイルに合わせて週間プランに反映できるよう9月から見直しを実施した。各職員が役割を意識しながら利用者支援に当たれるよう班長・係長中心に職員育成に努めた。日々のケース記録は全職種で入力徹底され、情報共有が迅速にできるようになった。

個別の介助方法の見直しを実施し、9月にはマニュアルを作成し、3月には見直しを行った。また、後半から居室環境整備の担当を決め、点検を実施した。

(3) 短期入所

ご家族やご本人の都合により、施設での宿泊が必要な場合に利用できる。

事前の見学と2カ月前からの予約が必要。2年目を迎え、年間を通じ、1日平均5.8名の利用率となった。

平成24年度は、ショートステイ対応機能拡充に向け、相談員の増配置を行った。利用率としては安定的に増加した。実際の受け入れ対応職員はじめ、介護、看護、調理、事務等のすべての職員のスキルアップもあり、複雑なニーズへの対応力も向上しつつある。年度途中には、全職員対象にショートステイ受け入れの仕組みに関するアンケート調査を実施した。今後でもできるところからの仕組み等の改善を目指し、支援力の向上につなげていく。

21. 戸田川障害者相談センター

平成24年度から事業開始、制度の動きや変更の中身が、各々の利用者に周知徹底されないまま開始された経緯上、それぞれの利用者も、支援担当者も手探りでの動き出しとなった。

アセスメントによるニーズ把握の上の計画作成である筈が、受給者証の更新を目指しがちになってしまっているケースもある一方で、深刻な状況を抱えているケース等、今後も継続的な支援が必要なケースも多数ある。こうした中川区の特色やニーズを踏まえ、地域に根差した相談支援事業所としては定着させていく。

V その他の活動について

1. 東部施設

平成24年度

○行事

月 日	行 事 名
8月 3日	夏祭り
8月18日	川原神社盆踊り
8月19日	昭和区福祉祭り
9月7・8日	親和会一泊旅行
10月 1日	お月見会
10月13日	慰霊祭
10月28日	昭和区区民祭り
11月 4日	わいわいフェスティバル (広路学区)
11月10日	地域交流フェスティバル
12月14日	餅つき大会
12月21日	クリスマス会
1月 5日	鍋パーティ



地域交流フェスティバル



親和会一泊旅行



クリスマス会



餅つき大会

2. 西部施設

○行事

<内部での行事>

月 日	行 事 名
10月13日	名古屋ライトハウス物故者慰霊祭
12月13日	もちつき
2月 2日	お千代保稲荷
3月 2日	ボランティア協力食事会

<外部行事に参加>

月 日	行 事 名
5月 6日	名古屋市障害者スポーツ大会（陸上の部）
8月26日	名古屋市障害者スポーツ大会（水泳の部）
10月28日	港区障害者と区民のふれあい広場
11月25日	名古屋市障害者スポーツ大会（ボーリングの部）
11月18日	名古屋市障害者スポーツ大会（卓球の部）
3月30日	福祉の店



スポーツ大会（陸上の部）



ボランティア協力食事会

○クラブ活動

親和会（親睦と福利を目的として職員・利用者が任意に加入する組織）の中でクラブを作り、自分達のやりたいことを自発的に行っている。

将棋クラブ

書道クラブ

詩吟クラブ

名曲クラブ

切り絵クラブ

スケッチクラブ

陶芸クラブ

手芸クラブ

卓球クラブ

吹き矢クラブ

フラワークラブ

ゴロバレークラブ

3. 緑風

行事やレクリエーションでは、達成感・共感・仲間との連携・身体機能の維持・団体規範・季節感など、生活支援の一環としての側面を大切にして様々な催し物に取り組んでいる。

○行事

月 日	行 事 名
4月10日	お花見
6月23日	バーベキュー大会
7月 6日	七夕会
8月25日	蕎麦打ち
9月30日	キャットロード祭り参加
10月 7日	ちくさ区民祭り参加
12月 7日	日帰り旅行<琵琶湖クルーズ>
12月22日	もちつき大会
1月 6日	仕事始め
1月26日	初詣<城山八幡宮>
2月 4日	豆まき
2月14日	バレンタイン

レクリエーション

施設内レク… ゴロ卓球、カラオケ、映画鑑賞、スポーツ大会、テーブルゲームなど
施設外レク… 千種スポーツセンター、カラオケボックス、イオンモールなど

○蕎麦打ち

緑風の前には東山を守る会「そばクラブ」の畑があり、地域の方が蕎麦を作っている。

「蕎麦挽き」「蕎麦打ち」には緑風の食堂をお貸ししているのので、地域貢献を兼ねた交流の場となっている。



○もちつき大会

緑風のもちつきでは、つく方はもちろん、鏡餅作りにも取り組んでいる。

皆さんで作った個性豊かな鏡餅には毎年大きな歓声上がり、年末の風物詩となっている。



4. 戸田川グリーンヴィレッジ

○行事

月 日	行 事 名
4月 9日	新年度 利用者（家族）向け 事業説明会
4月12・18日	いちご狩り外出
4月13日	牧野裕さん 感謝状贈呈式・音楽会
4月15日	車椅子ダンス開始（月1回程度）
4月19日	和食バイキング
4月28日	西部施設ライトハウス祭りに参加
4月28日	居酒屋「空」
5月7・31日	いちご狩り外出
5月13日	歌謡舞踊
5月17日	洋食バイキング
6月11日	谷本光さん ギターコンサート
6月15日	名古屋港外出
6月21日	地域ボランティア感謝の食事会
6月26・27日	利用者健康診断
7月 8日	戸田川緑地公園でブルーベリーつみ
7月11日	水族館外出
7月12日	避難訓練
7月19日	中華バイキング
7月27日	西部施設納涼祭へ参加
8月 3日	東部施設福祉祭へ参加
8月 9日	一粒荘とボッチャ大会（戸田川にて）
8月23日	グローバル練習試合（杜の家にて）
8月30・31日	金魚寄贈 金魚すくい
9月 4日	防災の日 高碓賢一さん講演とアルファー米炊き出し
9月 9日	車椅子ダンス終了
9月20日	デザートバイキング
9月23日	戸田川ふれあい秋祭り
10月 5日	グローバル大会
10月 7日	ボッチャ大会見学
10月13日	法人慰霊祭
10月21日	中川区ふれあい広場
11月 1日	昼の例会開始(以降月1回定例)
11月2・9日	インフルエンザ予防接種
11月 3日	戸田川をきれいにし隊
11月10日	光和寮フェスティバルへ参加
11月15日	手巻き寿司・ソフト食握り寿司バイキング
11月16日	紅葉狩り 戸田川緑地公園
11月19日	なばなの里 見学
11月21日	ブルーボネット

12月2日	愛盲報恩会 贈呈式
12月13日	衆議院議員選挙 不在者投票
12月22日	クリスマスコンサート (供米田中学校)・クリスマスメニュー
12月25日	富田作業所よりハンドベル演奏
12月27日	年末居酒屋「空」
1月18日	ペーパークラフト
1月25・31日	コメダ外出
1月30日	還暦祝い
2月12・19日	コメダ外出
2月21日	鍋物会・戸田川大掃除
2月22日	お手玉作り
2月28日	ボッチャ大会
3月13日	ゴロバレー練習試合 (杜の家にて)
3月15・22日	いちご狩り
3月21日	ピザパーティー
3月22日	数珠玉作り



ブルーボネット



避難訓練



秋祭り



秋祭り



名古屋港



クリスマス演奏会

Ⅵ 名古屋ライトハウスの沿革

昭和21年10月	盲人の自立更生と福祉増進をめざして片岡好亀、近藤正秋が中心となり愛知県盲人福祉協会を設立
昭和22年 8月	鍼灸共同治療所および愛盲ホーム光和寮を開設
昭和23年 7月	盲人の新職業開拓を合言葉に、金属作業部（製缶）を設立 点字出版の事業を開始 社団法人愛知県盲人福祉協会となる
9月	聖女ヘレン・ケラー女史来所
昭和27年 5月	社会福祉法人に組織変更し、第一種身体障害者授産施設となる
昭和32年 8月	名古屋ライトハウスと改称
昭和33年 9月	身体障害者福祉法による民間委託授産施設となる
昭和38年12月	あけの星声の図書館事業を開始し併せて点字出版所を新設
昭和41年 4月	あけの星声の図書館、厚生省指定図書館となる
6月	市内八事霊園に施設関係者共同墓碑建立
昭和54年11月	重度身体障害者授産施設「明和寮」開設
昭和55年 4月	既存の身体障害者授産施設を「光和寮」と呼称 同時に、あけの星声の図書館を名古屋ライトハウス図書館と改称
昭和58年 8月	身体障害者授産施設「港ワークキャンパス」光和寮金属作業部より分離 独立開所 身体障害者通所施設「黎明荘」を開設
平成 元年 5月	特別養護老人ホーム「瀬古第一マザー園」、養護盲老人ホーム「瀬古第二マザー園」、「瀬古マザー園デイサービスセンター」、ふれあいセンター「瀬古平成会館」開設
平成 3年 5月	図書館を移転「名古屋盲人情報文化センター」と改称
平成 6年 4月	「光和寮」を重度身体障害者授産施設に変更し、入居棟・作業棟新築
平成 7年 4月	身体障害者デイサービスセンター「クリエイト川名」、身体障害者福祉ホーム「かわな」新設
平成 8年10月	創立50周年を記念して新しいシンボルマークを設定
平成12年 4月	介護保険法施行に伴い「瀬古マザー園指定居宅介護支援事業所」開設
平成13年11月	港区に法人本部事務局を開設
平成14年 7月	「港区障害者地域生活支援センター Kiraらぼーと」開設 名古屋ライトハウスにおいて、ISO9001（2000版）を認証取得
平成15年 4月	身体障害者居宅介護等事業「みなとガイドネット」開設
8月	高齢者通所介護事業所「矢田マザー園デイサービスセンター」開設
平成16年 6月	身体障害者居宅介護等事業「ガイドネット あいさぼーと」開設
平成18年 3月	光和寮「KAN食品開発センター」開設 パンの缶詰「パンですよ！」販売開始
4月	法人本部事務局を光和寮へ移設

10月	創立60周年を迎え、記念誌の発行や記念式典、記念コンサートを開催 障害者自立支援法に伴い、身体障害者デイサービスセンター「クリエイト川名」が生活介護事業所「デイサービスセンタークリエイト川名」として新事業体系へ移行
平成19年 7月	地域活動支援センター「あちえっとほーむ」、児童デイサービス「わくわくキッズ」を開設
平成20年 1月	障害者自立支援法に伴い、光和寮・明和寮・港ワークキャンパスにおいて新事業体系へ移行 明和寮 就労移行支援事業・就労継続支援事業（B型）・生活介護を開設 光和寮 就労継続支援事業（B型）・就労移行支援事業を開設すると共に生活介護事業所「デイサービスセンタークリエイト川名」を統合 港ワークキャンパス 就労継続支援事業（A型）を開設
4月	明和寮入所部門の一部が福祉ホーム「あかり」として再編、黎明荘は通所ホームから福祉ホームとして再編され、それぞれ事業開始。港ワークキャンパス入所部門が福祉ホーム「みなど」に、KAN食品開発センターが港ワークキャンパス就労継続支援事業B型として再編され事業開始。これに伴い、港ワークキャンパスは障害者支援施設から多機能型事業所となった。
平成21年 4月	光和寮施設入所支援事業の一部を福祉ホーム「やすだ」として再編、光和寮生活介護を分化し、新たに地域活動支援センターを「デイサービスセンタークリエイト川名」の事業所名で開設
平成22年 1月	平成23年4月の開設に向け、名古屋市中川区富永に新たな生活介護事業施設 戸田川グリーンヴィレッジ(仮称)の建設を開始
平成22年 9月	港ワークキャンパス第二工場を改装し、就労継続支援A型の従たる事業所として国産こんにゃく食品加工工場を開設
平成22年12月	名古屋ライトハウスが、名古屋市千種区にある障害者通所授産施設 名古屋市緑風荘の事業譲渡先として決定
平成23年 3月	戸田川グリーンヴィレッジ竣工を迎える ISO9001の認証を返上 独自のマネジメントシステムで進むこととなる
平成23年 4月	障害者支援施設 戸田川グリーンヴィレッジ開所 通所授産施設 緑風荘を名古屋市より譲渡 就労継続支援（B型）事業 緑風として事業開始
平成23年10月	津島市に海部障害者就業・生活支援センターを開設
平成24年 4月	光和寮に相談支援事業 光和障害者相談センター 明和寮に 同 明和障害者相談センター 港ワークキャンパスに 同 港ワーク障害者相談センター 戸田川グリーンヴィレッジに 同 戸田川障害者相談センター をそれぞれ開設
平成25年 3月	緑風に相談支援事業 りよくふう障害者相談センターを開設
平成25年 4月	港ワークキャンパス就労継続支援B型のサテライト事業所として、港区寛政町に「かんせい工房」を開設 利用定員20→40名へ

平成 24 年度

名古屋ライトハウス 障害福祉施設事業概要

発行日

平成 25 年 10 月

発行

社会福祉法人 名古屋ライトハウス

東部・西部施設、緑風、戸田川グリーンヴィレッジ
法人事務局

印刷・製本

名古屋ライトハウス 光和寮 印刷科
